

# 弘前の文化財マップ

## 弘前城

弘前城は津軽統一城として、津軽為信により、慶長8年に計画され、二代目信成が慶長15年築城着手し、翌16年に完成しました。以後、弘前城は、津軽氏の居城として、廃藩に至るまでの260年間、津軽藩政の中心地として使用されました。弘前城は、東西約600m、南北約1000m、面積約50haのなかから構成されています。

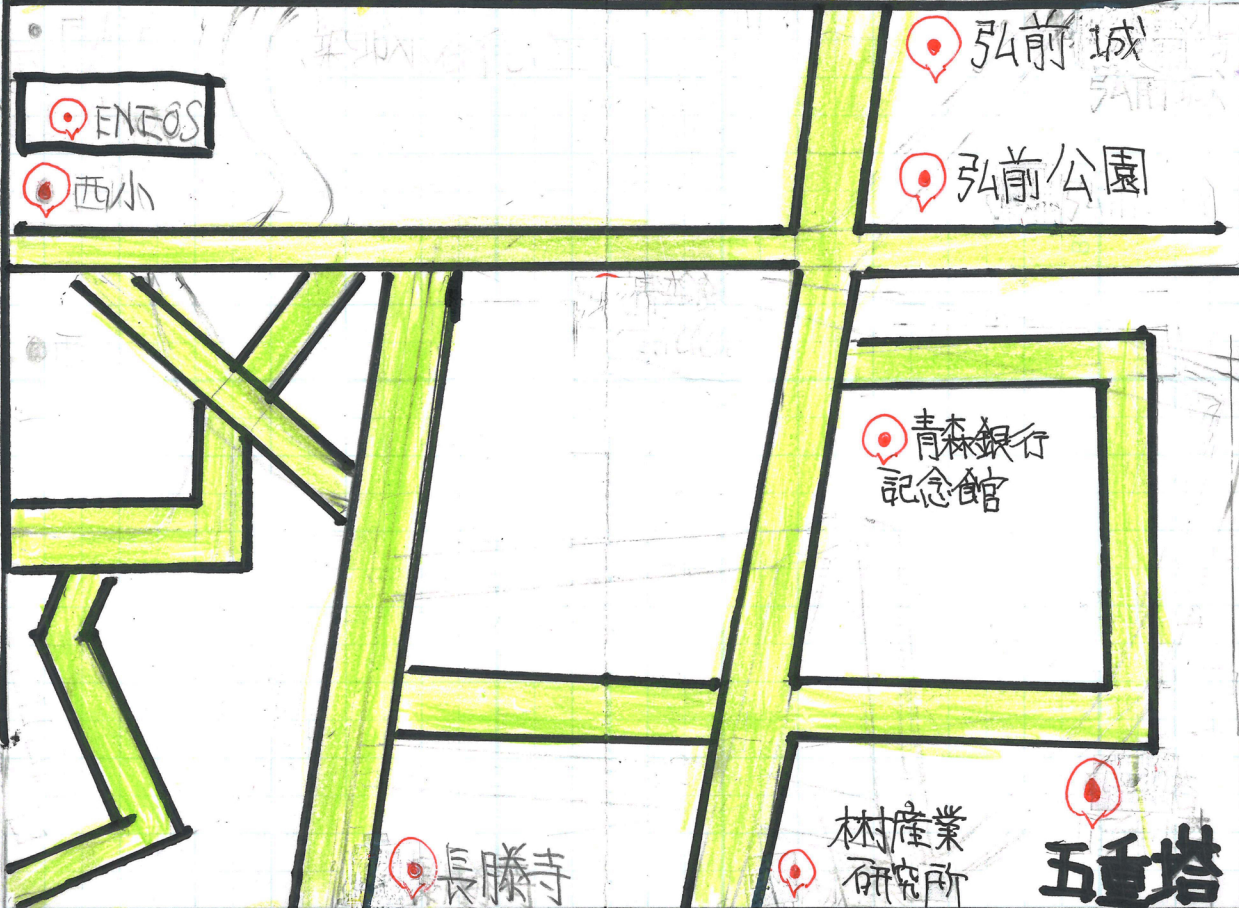
## 最勝院五重塔

高さは31.2m、3代藩主信義が計画し、明暦2年に着工。寛文7年に完成した。東北一の美塔と言われています。明治4年4月23日に国の重要文化財に指定された。



## 長勝寺

1528年に津浦郡光信のお寺として、程里に建立され、以後、光信の子孫の津軽信成の時代の1611年に弘前城築城にあわせて現在地に移りました。23、6代との様と初代・2代の奥方の墓がある。



## 長勝寺の重要文化財

1936年の三門の指示から始まり、1993年の本堂・庫裏の指定まで、長勝寺には、重要文化財建造物が9棟ある。それらの建物が古くなるとなっていたことから、1997年から2012年にかけて修理が行われました。

## 青森銀行記念館

明治37年に完成した、第五十九銀行本店の建物。石づくりのように見えますが木で建てられている。中央の入口は正面屋根に突き出た部分などにアーチ状のデザインを用いています。左右対称の美しい見方ですが、なかのなかのかわらを入れてぬりこめたり、土戸を使用する防火構造です。

## 木村産業研究所

昭和7年(1932)に完成した建物。日本でももっとも早い時期のモダニズム建築で、前川國男が初めて設計した建てた建物です。

## 前川國男

1932年に木村産業研究所を建築した。

